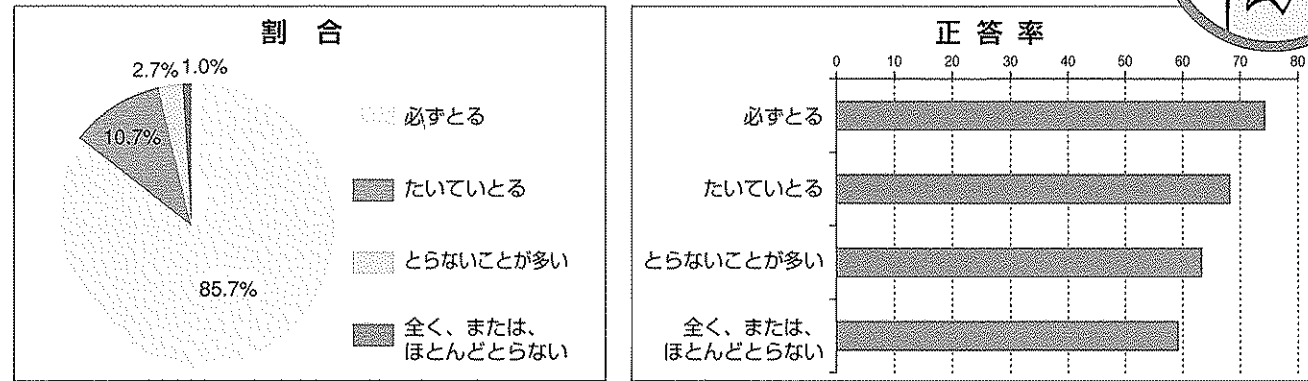
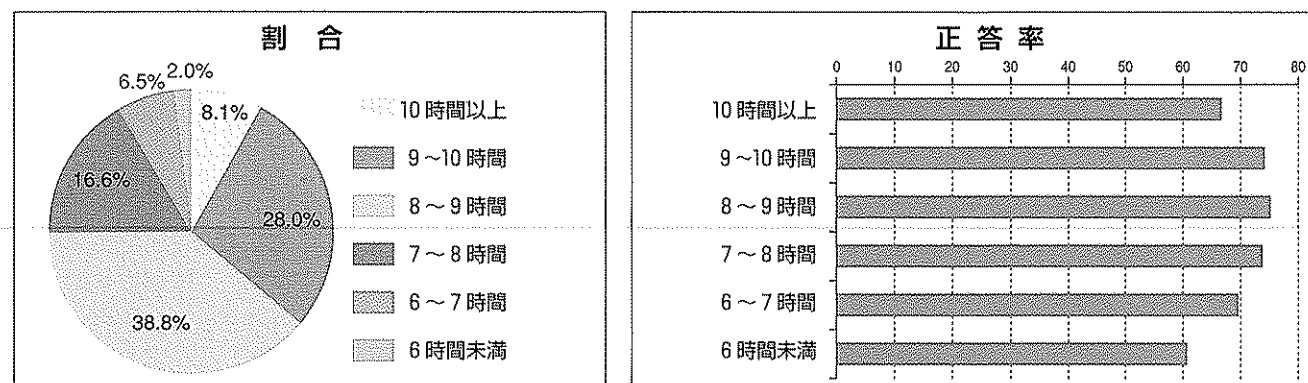


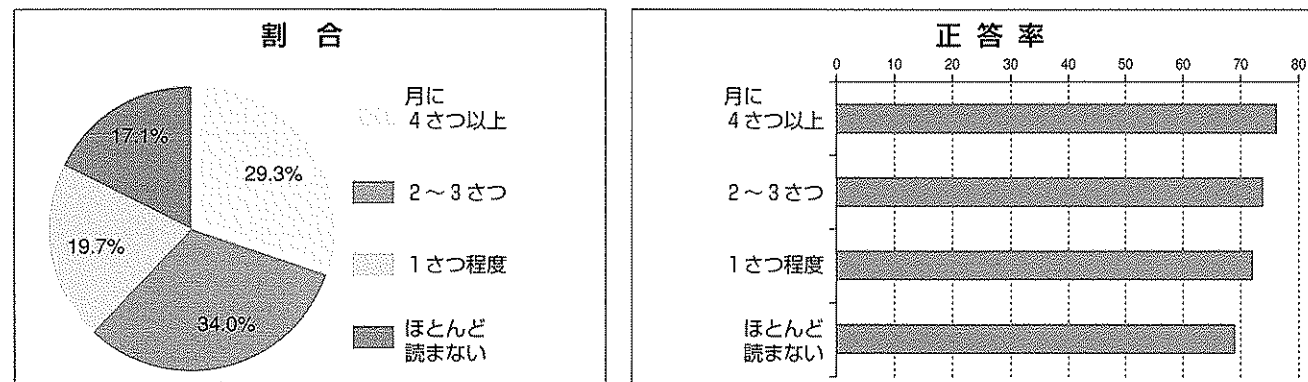
■ 朝食を食べてくる子どもは正答率が高くなっています。



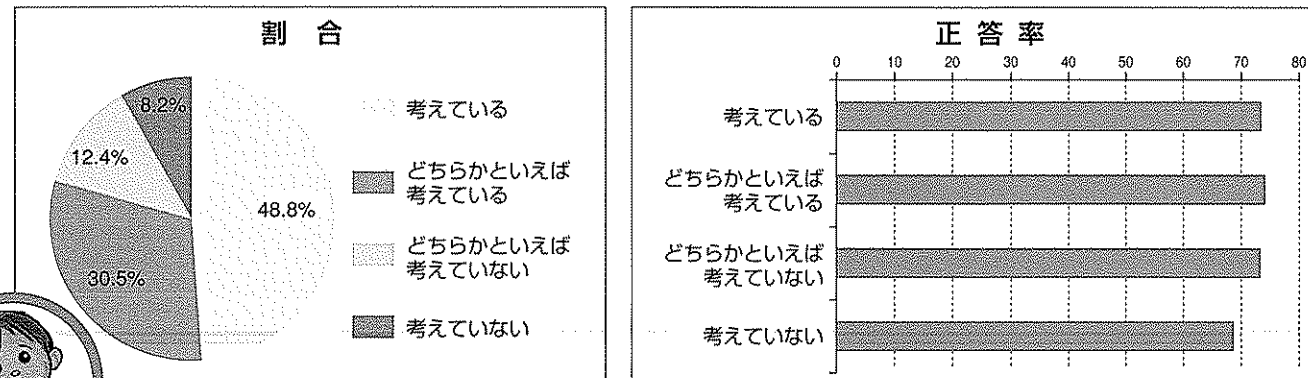
■ 8～9時間の睡眠時間を取っている子どもは、正答率が高い傾向にあります。



■ 本をよく読む子どもほど正答率が高くなっています。



■ 大人になってやりたい仕事・なりたいものについて「考えていない」と答えた子どもの正答率は、やや低い傾向です。



総合的な学力の向上を目指して

— 第55次 福井県学力調査をふまえて —

小学校



〈福井県学力調査の目的〉

本調査は、県内の児童生徒の学習状況および学習と生活に関する意識や実態を把握するとともに、調査を分析することにより学習指導上の課題を明らかにし、学力向上に資することを目的とする。

〈調査期間〉

平成19年2月8日(木)～16日(金)

〈調査対象児童、教科等〉

県内の小学校第5学年 8,119人
国語・社会・算数・理科・学習や生活に関する調査

平成19年6月

福井県教育研究所

国語

様々な文章に接する機会を設け、内容を的確に読み取る学習が必要です。

話す・聞く能力

- 話し合いを計画的に進めるための工夫をしたり、適切な言葉遣いで話したりすることは十分定着しています。
 - 相手に伝えたい事柄を、明確に伝わるように話すことに課題があります。
- ▶「わたしの宝物紹介」、「お別れ会でやりたいこと」など、児童にとって知らせたい、聞いてほしいという思いの強い、身近な話題について話す場を設定することが必要です。

書く能力

- 相手や目的に応じて、適切な文を書くことはおおむね定着しています。
- 書く内容に応じて、文末を適切な表現に直すことに課題があります。

▶様々な文例を取り上げて、文末表現による意味の違いに気付き、自分の表現に生かす学習が必要です。

読む能力

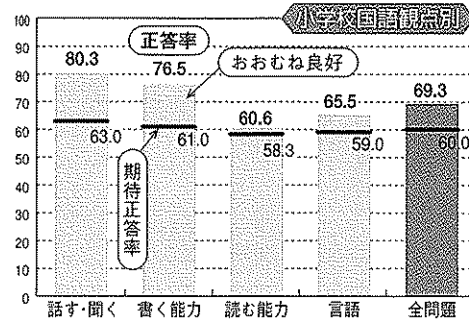
- 文学的な文章で、登場人物の心情を読み取ることは十分定着しています。
- 説明的な文章で、中心となる語や文をとらえて、文章を正しく読み取ることは不十分です。

▶様々な様式の文章を取り上げ、大事な事とそれを支える事との区別を意識しながら、読み進める学習が必要です。

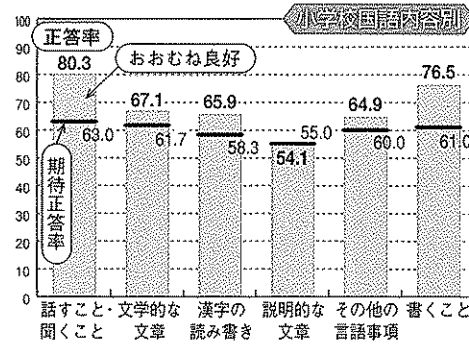
言語についての知識・理解・技能

- 正しい複合語を指摘することはおおむね定着しています。
- 習った漢字の正しい読み書きや、国語辞典に載っている語句の順を指摘することは不十分です。

▶日常あまり使わない語彙を意図的に取り上げて学習したり、国語辞典を積極的に使い、調べる習慣を付けたりすることが必要です。



●4観測とも「おおむね良好」です。



●「説明的な文章」についての学習内容の定着を図る必要があります。

社会

グラフを読み取る学習、体験的・作業的な学習が必要です。

社会的な思考・判断

- 米作りの生産性を高める工夫、商店の販売や施設・設備などの工夫について考えることは十分定着しています。
- これからの食料確保のあり方、ごみを減らすための工夫について考えることに課題があります。

▶自分の考えの根拠となる資料を示しながら、様々な立場で討論することにより、多面的な視点で産業や自然の特色を考えることが必要です。

観察・資料活用・技能・表現

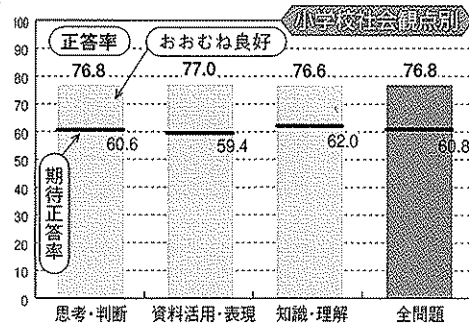
- 資料から食料の自給の様子を読み取ったり、地図帳から地名を検索したりすることは十分定着しています。
- 地図から土地利用の様子を読み取ることに課題があります。
- 放送や新聞などの通信業と国民生活とのかかわりに関するグラフの読み取りに課題があります。

▶土地利用図と実際の様子との比較、グラフの縦軸・横軸の単位や全体的傾向などを順序立てて読み取ることを通して、地図や統計資料を正確に読み取る必要があります。

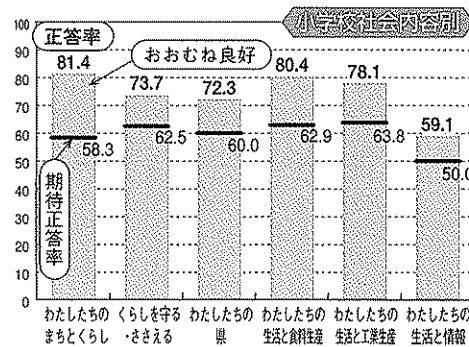
社会的な事象についての知識・理解

- 基本的な地図記号、米作りの作業に関する知識は十分定着しています。
- 放送局におけるニュース発信の仕事や、福井県での自分の住んでいる市町の地理的位置に関する知識に課題があります。

▶自主番組づくりや白地図に調査したことをまとめる活動など、体験的な活動や作業的な活動を取り入れることにより、産業や自然に関する事柄を具体的に理解することが必要です。



●3観測とも「おおむね良好」です。



●「わたしたちの生活と情報」の学習内容は、より定着を図る必要があります。

算数

作業的・体験的な活動を取り入れ、多様な考え方を出し合う学習が必要です。

数学的な考え方

- 2つの数量の関係の決まりを見つける力、三角形や四角形の中から等積の図形を見つける力はおおむね定着しています。
- 図形の面積を三角形や長方形に分割するなどして工夫して求める力、目的に応じた概数を構成し判断する力は不十分です。

▶図形の分割や統合などの操作活動を体験し、発見した多様な考え方を発表し合う場を設定する必要があります。

▶何枚かの数カードで整数を作り、ある桁数で四捨五入したとき、同じ概数になる整数を見つけるような学習活動を展開する必要があります。

数量や図形についての表現・処理

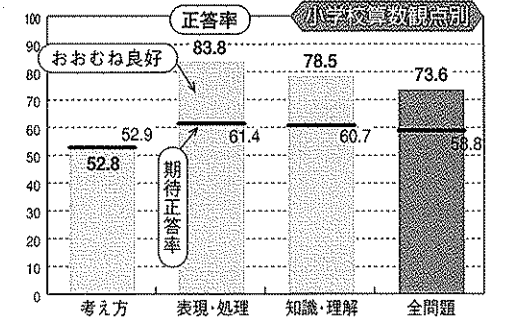
- 変化の様子を折れ線グラフで表す力、減法や乗法の基礎的な計算の技能、経過時間から時刻を求める力は十分定着しています。
- ()を含む加減乗除混合の式について、計算の順序の決まりを理解し、適切に計算する力に課題があります。

▶()を含む加減乗除混合の式の計算が確実にできるためには、具体的な場面と式を対応することで、計算の順序の決まりを理解し、いろいろな形の式の計算を繰り返し学習することが必要です。

数量や図形についての知識・理解

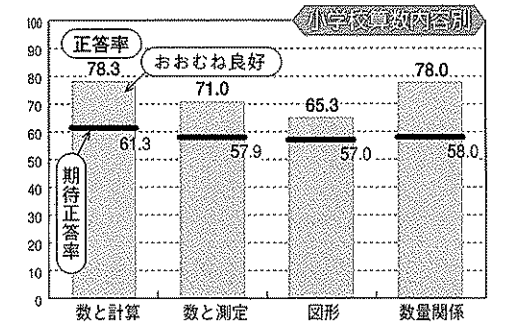
- 数直線について目盛りから単位分数の幾つかで表すこと、除法が用いられる場面を判断する力は十分定着しています。
- 四角形の性質を基にして、直線の平行や垂直の関係を正しくとらえる力に課題があります。

▶平行や垂直について言葉で説明したり、身のまわりで平行や垂直になっているものを探し、実際に三角定規で確かめたりする作業的・体験的な活動が必要です。



●「表現・処理」、「知識・理解」の観点は「おおむね良好」です。

●「考え方」は努力を要します。



●「図形」の学習内容については、より定着を図る必要があります。

理科

自然現象を日常生活と結び付けて考える学習が必要です。

科学的な思考

- 月の動きを予想して考えたり、日常生活の自然現象と水の状態変化を関係付けて考えたりすることは十分定着しています。
- 作用点の位置を変えたときの手ごたえの違いを考える力に課題があります。

▶はさみやペンチなど日常生活と関係する道具から現象の規則性について実感する授業展開の工夫が必要です。

観察・実験の技能・表現

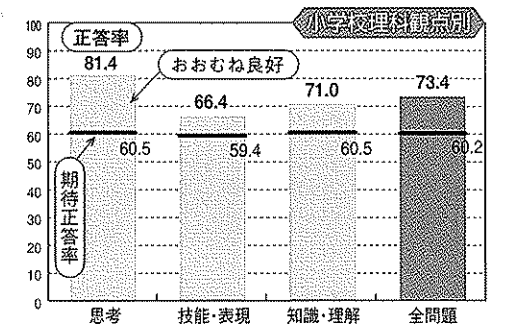
- アルコールランプや上皿てんびんの使い方については十分定着しています。
- 星座早見や顕微鏡の使い方については不十分です。

▶観察・実験の場面を多く取り入れ、児童一人一人に器具を使用する機会を増やすことにより、基礎的な操作を正確に行えるようにすることが必要です。

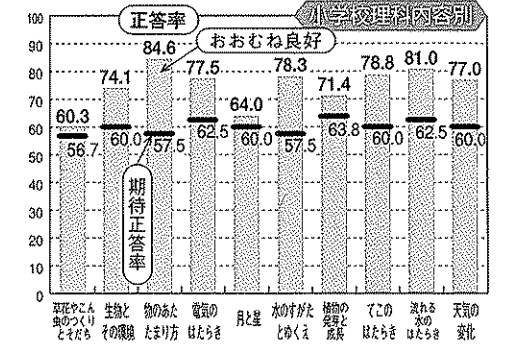
自然事象についての知識・理解

- 受粉したときのみ実ができること、川の上流と下流における流れる水の速さや石の大きさ・形の違いについては十分定着しています。
- 蛹になる昆虫、月が見える方向については理解が不十分です。

▶野外観察を通して、月の動きの特徴や動植物の季節による変化などを実感する授業展開の工夫が必要です。



●3観測とも「おおむね良好」です。



●「草花やこん虫のつくりとそだち」、「月と星」の学習内容は、より定着を図る必要があります。